

## 令和2年度北九州市八幡医師会事業計画について

公益社団法人北九州市八幡医師会  
会長 穴井 堅能

「骨太の方針 2019」では、国の優先事項として医療供給体制の改革が謳われており、地域医療構想、医師の働き方改革、医師の偏在性是正を三位一体で推進することを強い調子で述べていた。

それに従い厚生労働省は、2019年9月に市町村などが運営する公立病院などが運営する公的病院などについて「再編統合について特に議論が必要」として424病院名を公表するという、前代未聞の暴挙を行い、その風評被害は大きなものとなった。

また、医師の働き方改革により地域医療、救急医療の体制は各地で崩壊を引き起こす恐れが生じている。医師の偏在性是正や外来医療計画の開業抑制と取られかねない施策にも繋がってきている。

「骨太の方針 2020」では、医療等の負担と給付の問題が謳われるものと思われる。その前段階として全世代型社会保障検討会議が開催され、2019年12月に中間報告が出された。その中では、後期高齢者の医療費の窓口負担割合を一定所得以上であれば2割負担に引き上げる案が示され、この他にも外来受診時の定額負担、スイッチOTC薬の自己負担増も検討されており、医療に対する風当たりは益々強くなってきている。

これらを踏まえ、八幡医師会は次年度事業計画として下記について取り組む。

### ①地域医療構想について

「公的病院は民間病院が担うことのできない機能を担う、過剰な医療機能を減らしていく、不足する医療機能を補う」という原則に基づき、その地域でこれから本当に必要な医療機能について公的病院、民間病院とともに検討する。

八幡地区には地域医療支援病院が三病院（市立八幡病院、製鉄記念八幡病院、JCHO九州病院）あるが、地域連携の会を、時間的、費用的な負担を軽減する観点からも、三病院まとめて施行する方向で取り組む。

### ②地域包括ケアシステムについて

八幡在宅医会の継続と活性化を図ると共に、地域の福祉活動組織との連携を強化し、何でも相談できる関係の「地域ネット」、そのまとめ役である「あいあんネット」を拡大する。

### ③市民センター顧問医の活性化について

市民センターを中心とした地域ネットに医師会代表として積極的に関与していく体制を構築する。

### ④看護学院事業について

地域医療を守って行くためには、看護師・准看護師の育成は必要である。

医師会立看護学校の准看護師科は、社会人の学び直し（リスタート）の手段として、資格を得た上で安定した仕事に就くための有用な社会機構の一つである。

しかしながら、准看護師科は全国的に受験生が激減しており、八幡医師会看護専門学院も同様に受験生減少による赤字運営に陥っている現状ではあるものの、今後も地域の看護力充実を目指すため、定員の見直しなどを含めてより健全な経営体制を模索しながら、看護師科・准看護師科の二つの課程を維持して行く方針である。

### ⑤医療・福祉センター事業について

職員を増員するとともに、365日・24時間電話対応の体制を維持し、医師会員並びに地域に信頼される訪問看護事業、介護保険サービス事業をより一層強化する。

### ⑥在宅医療・介護連携支援センター事業について

地域との連携を重視し、在宅医療の普及啓発や、医療介護専門職と住民互助組織とが協働する地域ネット活動をさらに強化する。医療介護従事者研修をはじめとした事業を継続する。

### ⑦八幡医師会健康フェアについて

地域住民の健康増進に寄与する健康フェアは秋の恒例行事として定着しており、行政機関及び地域団体などとの共催で今年も10月上旬に開催する。

2019年の健康フェアで好評であった八幡歯科医師会、八幡薬剤師会との連携による歯科相談、お薬相談コーナーも引き続き設置する予定である。

### ⑧研修医事業について

実地診療に役立つ基調講演とそのテーマに従って八幡地区の研修病院に所属する研修医が症例報告を行う「八幡臨床研修医懇話会」を10月下旬に開催する。

また、5月と7月には充実した講師陣による八幡臨床研修医腹部超音波研修会及び八幡臨床研修医心臓超音波研修会を開催する。

⑨死体検案研修会について

今後孤独死や在宅死が増えていくことから、主治医がかかりつけ患者の死体検案、検死を可能な限り行っていくことを目的として2019年から開始した死体検案研修会も引き続き開催する。

⑩他団体との連携について

地域における他団体との緊密な連携は重要であり、八幡地区にある公的病院の院長、各専門医会会長、若松・戸畑を含む洞海三地区合同三役会、八幡歯科医師会及び八幡薬剤師会との八幡三師会、警察・消防機関との懇談を引き続き実施する。

⑪救急医療体制について

医師の働き方改革により救急体制、特に小児科の救急体制が崩壊する危惧が高まっていることから、北九州市全体との兼ね合いも考慮しながら小児救急体制について検討を進める。

⑫救急・災害医療への取り組みについて

近年各地で自然災害が頻発し、激甚化していることから、災害時の医療供給体制を想定した訓練が重要となっている。そのため北九州市立八幡病院の災害医療研修センターと連携を取りながら開催する。

⑬医師資格証取得の促進について

研修会における受付の簡素化と事務負担軽減を目的に、医師資格証を用いた受講確認を拡充する。そのためにさらに会員への医師資格証取得を促進する。

## 事業内容

### <公益目的事業>

#### 【公1】地域住民の公衆衛生向上・健康増進事業

- 1 医療の質の向上事業
  - (1) 学術講演会・研修会
  - (2) 医療安全研修会
  - (3) 八幡臨床研修医懇話会
- 2 地域医療対策事業
  - (1) 「夜間・休日急患センター」「第2夜間・休日急患センター」等への出務医師調整
  - (2) 在宅当番医制度
  - (3) 「救急の日行事」等各種行事への会員医師及び医療従事者、医師会職員の派遣
- 3 健康教育事業
  - (1) 出前講演
  - (2) 市民センターを拠点とした健康づくり事業
- 4 地域保健活動事業
  - (1) 八幡医師会健康フェア
  - (2) 各種検診・予防接種の普及事業
  - (3) 住民健診、特定保健指導
  - (4) 学校健診
- 5 学校保健事業
- 6 情報提供事業
  - (1) 市民向け広報誌「はっちくん通信」の発行
  - (2) ホームページによる情報提供
- 7 無料職業紹介事業 ※事業廃止申請予定

#### 【公2】地域の福祉向上事業

- 1 訪問看護ステーション
- 2 介護保険総合センター
- 3 在宅医療・介護連携支援センター

#### 【公3】看護学院事業

<収益事業等>

【収 1】施設貸与事業

- 1 会館の貸付
- 2 駐車場の貸付

【他 1】会員相互扶助事業

- 1 医業経営対策
  - (1) 労働保険事務組合の運営 資格取得・喪失等手続きの代行
  - (2) 会員医療機関従業員の永年勤続表彰
  - (3) 顧問税理士、公認会計士、社会保険労務士、弁護士の斡旋
- 2 カルテ・診療報酬明細書等の販売
- 3 新年会・忘年会等役員職員懇談会の開催による会員相互の親睦
- 4 会員・会員家族の健康診断の実施
- 5 八幡医師会報の発行